

令和6年度 地域ぐるみ獣害対策推進事業 業務委託報告書

【概要版】

株式会社EGO

事業の目的

近年の野生動物被害の深刻化・広域化に対応するには、行政主導の捕獲や防除柵だけでは困難です。野生動物を人の暮らしに近づけさせない環境整備や防除の取組を地域の実情に合わせ地域ぐるみで継続的に実施することが重要です。

八王子市では、令和4年度から引き続き、野生動物の生態・行動特性についての学習会や、現状把握のための環境点検などを行い、自然環境・地形・作物など地域の実情にあった対策を住民が主体的に考え、取り組むことで農作物や生活被害の防止・軽減を図る地域ぐるみの取組を支援し、地域に定着させることを目指しています。

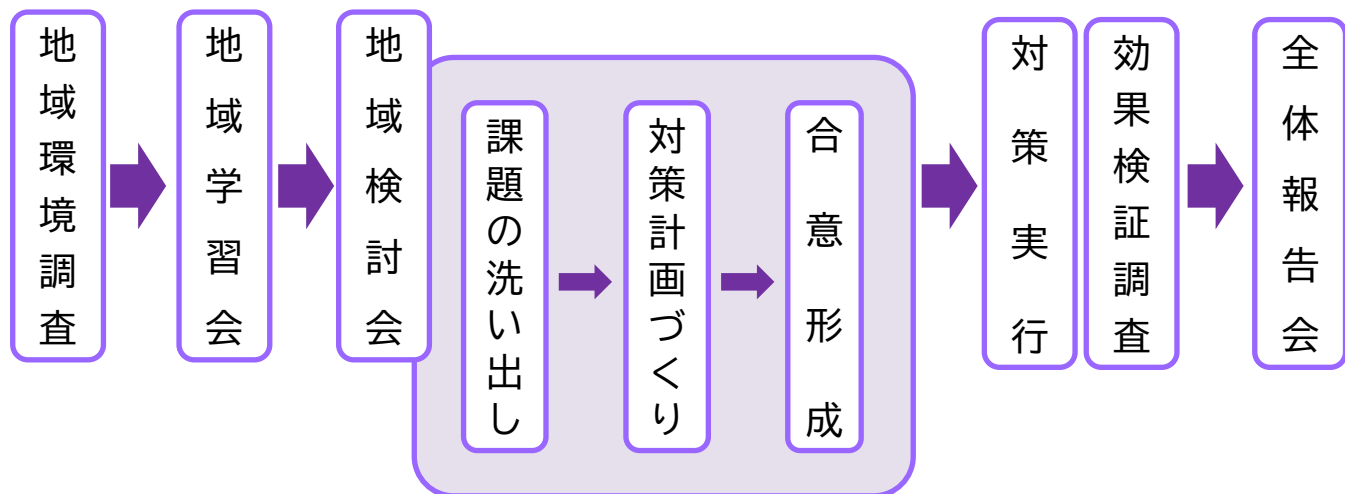
対象地域

令和4年度開始： 八王子市上恩方町(8町会)・上川町・高月町

令和5年度開始： 下恩方町大沢町会



事業の流れ



各地域で実施した獣害対策

■対策実施状況（上恩方町8町会）



恩方中学校ユズ収穫会・学校給食で活用

サルの冬場の主要な餌となる「ユズ」を収穫して、八王子市内の学校給食(冬至献立)で使用した。令和5年度から継続した取り組みです。



放任ユズの収穫・剪定・伐採作業

令和5年度に実施した「放任果樹需要量調査」結果をもとに、所有者が管理ができずに困っているユズを対象に、実の除去・枝の剪定・伐採作業を行いました。実の収穫作業には地元の聖パウロ学園高等学校と恩方中学校の生徒が手伝いに来てくれました。

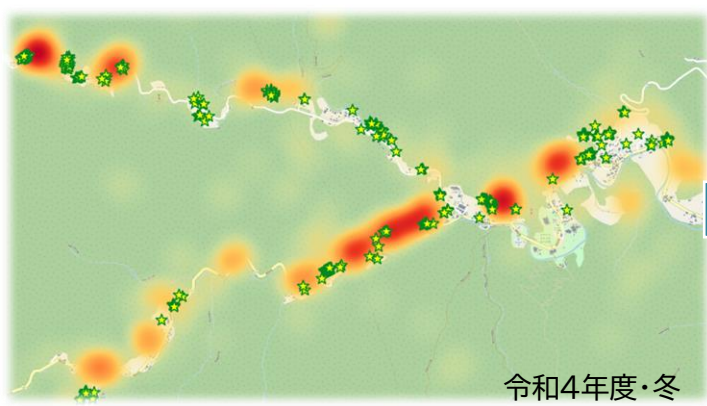


放任ユズを使ったクラフトビールづくり

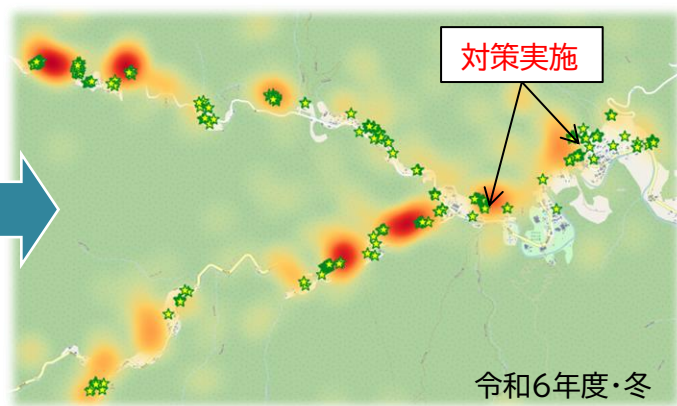
収穫したユズは、全部で1t以上となり、参加者らが持ち帰るだけでは、使い切ることができず無駄になってしまいます。そこで、地元の「高尾ビール」にユズの活用について協力してもらいました。ワークショップをひらき、ユズを使ったクラフトビールづくりをしました。

放任ユズ対策で冬期のサル出没減少

放任ユズ園(10本以上の規模)で、ユズの実の除去や伐採をした場所では、冬のサル(川井野群)の出没が減りました。高木化したユズを拠点に周辺の農地を荒らすこともあるため、ユズ園の周囲でも出没が減っていました。実の除去や果樹の伐採は、地道で大変な作業ですが、効果的な獣害対策であることがわかりました。



令和4年度・冬



令和6年度・冬

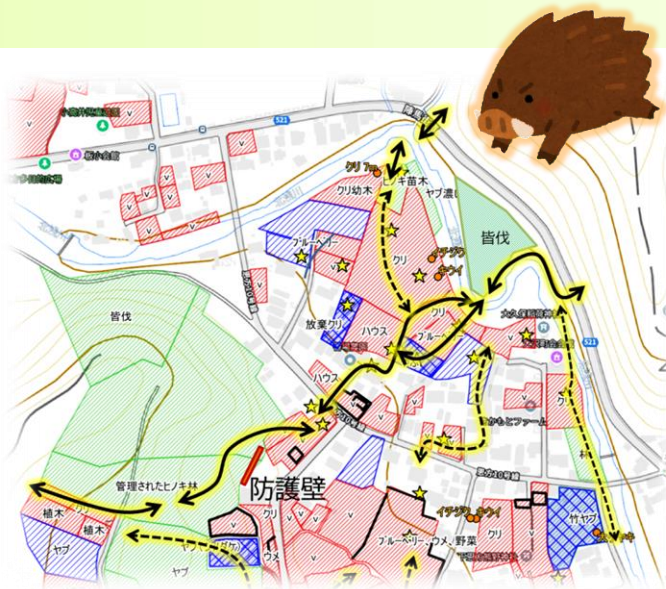
↑川井野群GPSデータの冬期ヒートマップの比較(データ参照:八王子市)

■対策実施状況（大沢町会）

イノシシの移動経路を調査

令和6年度の夏期にサツマイモの被害が多く発生しました。クリも多く食べられており、イノシシが住宅近くに出没している状況でした。

イノシシの移動経路を痕跡や自動カメラで調査したところ、特定の個体が住宅近くに出ていることがわかりました。片目がないオス個体でした。クリ園には最大9頭の親子のイノシシが出没していることもわかりました。



住宅地の移動経路を柵で遮断

イノシシの移動経路の中で、住宅の敷地内を通り、通学路を横断するような危険なルートを塞ぐため、もともとある塀などの障害物活用して、柵を設置しました。また、イノシシを捕まえるための「はこわな」を設置し、町会で管理をはじめました。



今後の対策について検討

これまで大沢町会の北側の調査と対策を実施し、前年度から対策を実施してきました。南側でも対策を始めるために、イノシシやシカの出没状況や移動ルートを調べました。

調査の結果、クリなどのエサが集落に少ない時期は、イノシシが集落にあまり出沒せず、集落へ移動するために通る場所には地元の狩猟者がわなを設置、しっかり捕獲していることがわかりました。

今後、町会ではサツマイモの防除やクリの対策について、電気柵の設置など検討することになりました。また、サルの追い払いについて、爆竹では逃げないという課題があり、対策として機能的な追い払い道具を町会で購入することとなりました。

隣接地域への取り組み波及

大沢町会と隣接する松竹町会が、大沢町会と同じくイノシシやサルによる被害が発生しているため、検討会に参加されました。その後、町会からのご要望で、まず、サルについての正しい知識を得るため、生態及び対策資料を作成し、松竹町会で回覧をしました。

■地域検討会「獣害対策ロードマップ」更新

令和5年度に作成した獣害対策ロードマップを基に、進捗状況を確認して、更新を行いました。

上川町版 獣害対策ロードマップ

	短期(1～2年)	中期(～5年)	長期(5年～)
優先順位	高   中 美山群   低 ハクビシン その他 		
対策	■ 講習会・周知 ・ クマ、シカ、イノシシの生態と対策について講習 ・ 八王子市取り組む対策について周知 ■ 捕獲 ・ 講習会 ・ 体制づくり ■ シカ、サルに適応した柵を設置する ・ 現在設置しているイノシシ用柵の機能向上をする。 ・ 失敗事例集を作り、共有する。 ■ サル追い払い ・ 定期的に実施 ・ 泊り場の追い払い(15～16時) 隣接地域への波及 美山町		

高月町版 獣害対策ロードマップ

	短期(1～2年)	中期(～5年)	長期(5年～)
優先順位	高 イノシシ 中 その他 低 シカ アライグマ・タヌキ		
対策	■ イノシシ捕獲 カメラでしばらく撮影がない場所のはこわなを移設する。 林縁沿いと多摩川側に増設する。	■ 獣害にあいにくい作物の生産	
	■ 侵入防止柵 最近、電気柵を正しい高さで設置しても、幼獣が入ってしまうようだ。 →カメラで調査し、対応策を検討。	■ 耕作放棄地 水田地帯の真ん中の耕作放棄地が増えて、ヤブが大きくなった。対策方法が課題。	